

1. 件名:高浜発電所原子炉施設運転期間延長認可申請(3、4号炉の運転の期間の延長)及び保安規定変更認可申請(3、4号炉の高経年化技術評価等)に関する事業者ヒアリング

2. 日時:令和5年11月27日(月) 15時30分~17時15分

3. 場所:原子力規制庁 9階B会議室(※一部TV会議システムによる出席)

4. 出席者:

原子力規制庁

原子力規制部審査グループ

実用炉審査部門

塚部安全規制調整官、岡本上席安全審査官、雨夜上席安全審査官、日高安全審査専門職、

藤川安全審査官、市川安全審査専門職、今田審査チーム員、鈴木技術参与

長官官房技術基盤グループ

システム安全研究部門

小嶋統括技術研究調査官、渡辺技術研究調査官

関西電力株式会社

原子力事業本部 原子力発電部門 保全計画グループ マネジャー 他15名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料:

資料① 高浜3、4号炉 運転期間延長認可申請 審査会合における指摘/質問事項の回答

資料② 高浜3、4号炉 高経年化技術評価に係る審査コメント反映整理表(中性子照射脆化)

資料③ 高浜3、4号炉 劣化状況評価 原子炉容器の中性子照射脆化

資料④ 高浜発電所3号炉 劣化状況評価(中性子照射脆化) 補足説明資料

資料⑤ 高浜発電所4号炉 劣化状況評価(中性子照射脆化) 補足説明資料

資料⑥ 高浜3、4号炉 高経年化技術評価に係る審査コメント反映整理表(IASCC)

資料⑦ 高浜発電所3、4号炉 劣化状況評価 照射誘起型応力腐食割れ

資料⑧ 高浜発電所3号炉 劣化状況評価(照射誘起型応力腐食割れ) 補足説明資料

資料⑨ 高浜発電所4号炉 劣化状況評価(照射誘起型応力腐食割れ) 補足説明資料

資料⑩ 高浜3、4号炉 高経年化技術評価に係る審査コメント反映整理表(特別点検(CV))

資料⑪ 高浜発電所3号炉 特別点検(原子炉格納容器) 補足説明資料

資料⑫ 高浜発電所4号炉 特別点検(原子炉格納容器) 補足説明資料

資料⑬ 高浜3、4号炉 高経年化技術評価に係る審査コメント反映整理表(特別点検(コンクリート))

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	原子力規制庁のフジカワですそれでは、高浜発電所 34 号炉運転延長認可に関するヒアリングを開始します。
0:00:07	関西電力さんの方から資料について説明をお願いします。
0:00:17	関西電力の小路です。それでは本日ですねコンクリートの方ですけども引き込み版 3 ページ表の方の方ですけども、本日回答するコメントは 2 点ございます。ナンバー32。
0:00:32	の方ですね、審査会議で受けておりますコメント等でこの 1 点が 42 番のコメントの経営理念についてと本日ご回答させていただきます。
0:00:42	まず、32 番の方なんですけれどもこちらの方が審査会合コメントとなっておりますのでこちらの方はパワポ資料でちょっと説明させていただきます。資料の①の方、お願いいたします。
0:00:59	資料①の 2 ページ目になりますけれどもこちらのコメントの番号で言いますと⑨番ですね、⑨番の方の中性化深さ測定における切断水についてコンクリート標準示方書では切断水を用いると正確な測定ができないと。
0:01:15	記載されている、切断等による測定への影響について説明することというコメントに対しての説明資料が、3 ページから 5 ページ目の方で年イセ資料作っておりますのでこちらの方についてご回答させていただきます。
0:01:29	では 3 ページ目お願いいたします。
0:01:32	ではこちらの方で中性化深さ測定における水の影響要因と対策についてというところでご説明させていただきます。まずですね下の四角枠のコンクリート標準示方書の最新版の記載、ものを記載させていただいておりますけれども、
0:01:47	こちらの中でコンクリート標準示方書の維持管理編においてコンクリートの切断に水を用いて正確な中性化深さが測定できないと、といったような記載がされている点につきましてこの記載に関与された学識経験者、
0:02:01	ミイと確認をした結果、当該記載のみとなった文献であったりこちらの解釈について確認ができましたのでそちらについてご説明させていただきます。
0:02:10	まず文献の確認というところになるんですけどもこちらの
0:02:15	下線部ですね、下線部で引いてある箇所についてですねそちらの記載の元となった文献の方を確認することができましたそちらの文献の方がですねコンクリート構造物の耐久性シリーズの中性化、
0:02:27	という本になっておましてこちらの中でですねちょっと水産係集合は水溶性であるため、溶出したり移動したりして着着の境界線が正確になりがちであると。

0:02:37	いったようなことですね、水の影響の要因が記載されております。またですねその中で水の影響に対してですね対応策としてポーリング面や、ダイヤモンドカッターで説明し切断した面において、
0:02:51	中性化を測定する場合にはその面を十分水洗いし表面水を乾燥させた後で試薬を噴霧することが必要であるといったような形で江藤のコンクリート標準指導書の記載の元となったですね文献の方に、水の影響と、その対策。
0:03:06	が、と記載されておりました。
0:03:08	下の方になるんですけれども下の方で学識経験者への記載の解釈の確認といったようなところでコンクリート標準示方書の維持管理編に記載されているまず水の影響については、先ほどの上記文献に記載されてあった水酸化カルシウムの溶出移動。
0:03:25	の影響でありましてコンクリート標準示方書、維持管理編としては水の影響を受けない方法を推奨していると。
0:03:33	いったようなことが学識経験者への確認でわかりました。さらにですね一方でその水の影響に対する対応策としまして上記文献にも記載されている通りですね、
0:03:46	かつあと実務の方に記載されております、感想といった方法を適切に行えば、問題はないといったようなところで学識経験者への確認が完了しております。次のページをお願いいたします。
0:04:01	こちらにですねJISのA-1152のコンクリートの中性化深さの測定方法の抜粋を記載させていただいております。高浜34号炉の特別点検におきましてはコンクリートの切断に水を用いている場合、
0:04:17	におきましてはJISのこの1152に従いまして測定面を水洗いした上でドライヤーを用いて乾燥させていると。
0:04:25	いったような対処を行ってございましてコンクリート標準示方書の先ほどの所ご紹介させていただきました維持管理編の記載の元となった文献の制度対応策とも、と整合していることが確認できております。
0:04:38	9のページをお願いいたします。
0:04:40	こちらがまとめになるんですけれども、まず1点目コンクリート標準示方書維持管理編に記載されている水の影響というのは水産係長の異動及び溶出であることがわかりました。
0:04:53	2点目水の影響に対してはJISA1152018のコンクリートの中性化深さ測定方法だけではなく、コンクリート標準示方書の維持管理編。
0:05:03	元となった文献にも対応策として水洗い、及び測定面の感想が記載されている点、3点目としましては高浜34号炉の中性化深さにつきましては先ほどの2、
0:05:16	に基づく方法で実施されていることから、以下の通りですね高浜34号炉の中性化測定への切断水の影響に対する対応が適切であると。
0:05:26	そういったことが確認できておることから、切断水の影響は問題ないものと、

0:05:30	いうふうに考えてございます。
0:05:32	こちらのコメントに対する説明は以上になります。
0:05:38	そしてちょっとコメント管理表の方、ご説明します。
0:05:44	こちらの方につきましては、
0:05:47	以上での説明ではなくてですねとこっこのコメント反映整理所のコメント対応といったようなところで、コメントの方からご回答させていただきます。いただいておりますコメントがですねえと新規性基準以降、
0:05:59	に設定された構造物の特別点検における取り扱いについて特別点検結果報告書に記載すること。
0:06:07	というところでそのコメント対応としましてですねえとコンクリート構造物の特別点検結果報告書の中に、1の中にですね特別点検の対象の機器構造、
0:06:18	物及びむい。
0:06:20	の中にですね以下の通り、追記する方針でございます。追加保守としまして以下を記載しております。なお以降になりますけれども、なお新規制基準制定以降に設置した構造物、
0:06:33	こちらが緊急時対策所建屋、防潮ゲート放水砲が膨張して、及び特定見特定事項、
0:06:40	特定重大事故等対処施設については他の構造物に比べて運用開始後の経過年数が短い人から経年劣化が進行しないと、判断している。
0:06:50	また建設時に各種試験こちらが圧縮強度試験乾燥単位体積、質量試験及びアルカリ骨材反応に関する試験を実施して基準を満足していることも確認していると。
0:07:02	いったようなことでこちらの内容を追記することで考えております。以上が米コンクリートに関する本日のコメント回答になります。
0:07:16	A規制庁フジカワで説明ありがとうございますそれでは今の説明
0:07:22	で質問、コメント等ありましたらお願いいたします。
0:07:28	原子力規制庁の小嶋です説明ありがとうございます。
0:07:32	3 ページ目の文献の確認ということで、記載の元となった文献ということでこれは、
0:07:43	これが元となったというのが、学識
0:07:46	経験者の方から情報をいただいたということ等だと思うんです。それでよろしかったでしょうか。
0:07:55	はい。関西電力の岸本です。おっしゃる通りでございます。
0:07:59	原子炉規制庁の小嶋ですわかりました。その上で水酸化カルシウムの水溶性っていうことであれば、私も特に、
0:08:07	懸念することはないので、水酸化カルシウムが
0:08:12	何ていうんでしょう。
0:08:13	輸出したりしても、結局その下の水酸化カルシウムがあるから、炭酸カルシウムとの間の境界線をしっかりと、
0:08:21	読めるんだよ。だから特に紙アライ流してしまえば、乾燥させれば、

0:08:29	中性化の境界名を、
0:08:33	県、確認することができるというそういう理解。
0:08:37	なんですけれども、
0:08:39	そういうことで記載されたということによろしかったでしょう。
0:08:43	関西電力の岸本です。その認識で間違いございません。
0:08:49	原子力規制庁の小嶋です。わかりました。
0:09:05	規制庁藤川です。42 番のところで
0:09:10	ここだけちょっと気になったのは、
0:09:13	経年劣化は進行していないと判断しているって
0:09:19	していないって言い切っちゃっていいですかね何か数年分は進行してるんじゃないのとか何かそういう。
0:09:25	この書き方だといちゃもんがつかないかなってちょっと心配になったんですがそこなんか、
0:09:30	適切な表現にする。
0:09:34	していただけないかなと思うんですがいかがでしょうか。
0:09:44	単体電力の三浦でございます。江藤趣旨承知いたしました
0:09:50	今の書き方だと、進行してないと、生きてしまっている部分あります。我々としては、この程度の例年であればほとんど進行してないというところは考えているところなんですけれども、
0:10:04	あとそのあたりを正確に記載できるように、少し記載修正させていただきます。
0:10:10	そうですね。はい。お願いします。
0:10:13	他に何か質問、コメントありますか。
0:10:25	すいません規制庁ツカベ 1 点だけ確認でパワポ資料の 3 ページ目のところで、
0:10:31	その学識経験者への記載の解釈の確認というところの二つ目の四角のところ、
0:10:39	一方で、の後にその上記文献にも記載されており、対応策は上記文献にも記載されておりということなんですが、
0:10:49	ところで、上記文献には、
0:10:52	いう形でその対応策は書かれているんでしょうか。
0:10:58	関西電力の岸本です。その絵と同じパワポ資料の 3 ページ目になるんですけども、その中の丸の文献の確認の二つ目の四角ポツの中にですねえとボーリング面やダイヤモンドカッターで切断した面において修正かを測定する場合には、
0:11:13	これ以降の内容が持つてくる対応になるんですけども、その面を十分水洗いし表面水を乾燥させた後、こちらが対応に当たるとしており
0:11:25	規制庁。
0:11:26	この記載がその文献に
0:11:29	まさに書いてあって、それが字数に記載されている内容と、
0:11:34	整合しているというご趣旨だったと思えばよろしいですか。

0:11:39	関西電力の岸本ですおっしゃる通りでございます。
0:11:49	はい、規制庁フジカワです他、この点について何か。
0:11:54	大丈夫ですかね。
0:11:56	はい。では、次の説明に移っていただければと思います。
0:12:03	はい。説明者変わりますので少々お待ちください。
0:12:08	それで照射脆化を予定してます。
0:13:02	すいません、関西電力中崎でございます。お待たせいたしました。それではですね、中性子照射脆化関連の回答の資料の方でご説明させていただきます。
0:13:13	今、図示というのが主です 2 番の審査コメント反映整理表とサイトウ資料の資料でして、これちょっと、ここから順番にちょっと資料 1 気質なりますけれども、ご説明させていただきたいと思います。
0:13:27	まず、ナンバー1 の
0:13:30	ちょっとご覧いただきますと、
0:13:33	ごめん。
0:13:35	ダイゴは一般試験で言われたデータについてどのように分析していくや成果が生じてないと考えるウツミつつこ。
0:13:42	ナンバー4 の方も同じようなことをコメントいただきまして、VEGA続報における不具合が一般試験に関係した図について特にウエキが生じて判断した考え方を説明することというところ。
0:13:53	こちらこの②番の資料の整理表の後に回答資料、別でございまして、そちらの方でまとめさせていただきます。
0:14:03	あ、はい、こちらになります。大分外観乾式イワタ自体について、この分析、
0:14:10	結果ということで示してございます。
0:14:12	とか、ちょっと簡単に待っていただきますが、高浜 34 号機のダイゴ外観試験でやられたデータ関連報道についてはこの表に示す通りでして、
0:14:22	予測値が高浜 3 号ツボクラ 48 溶接金属 16 度、高浜 4 号ですと、5 台で 84 度 4 日付け 21 度という数字になってございます。
0:14:33	ただ、いずれもですね中性子照射量がそれぞれ 1.47×10 の入場、 1.409020 乗という値になっておりまして、約 4201 の国内脆化予測法の適用範囲は 1.0×10^{-17} 乗から、
0:14:46	1.3×10^{-20} 乗の間であるので、この最後の代行外観試験の中性子照射量というのは、息子の適用範囲はこういうことになりますので、4201 に基づく規格通りのウイングスのサービスというのはできないと。
0:15:03	そこでですね適用ハヤマでのその欠陥傾向を踏まえて確認することとしまして、具体的には、適用範囲の上限である 1 件下げる中の 20 条における測地というのを
0:15:13	求めましてそのあたりと今回の換気かき立てしました。
0:15:18	比較結果ちょっと簡単ですが下の表になりまして、
0:15:22	第 5 回、3 試験結果における金の実測値というのが、左の行。

0:15:27	1点×10-20条、20条における関連を除くというのは右の行になっております。
0:15:33	いずれもですね、48年69、16に対し4384に対して8821日43.2。
0:15:41	いずれもですね、1.3ヶ月10-20条におけるカーネル測地のほうが、ダイゴ版試験における慣用実測値より大きいということになってございます。
0:15:52	このグラフだけ今日だけではちょっとわかりにくいので、さっきちょっと添付の図を示していただきますと、
0:16:01	上の図
0:16:04	こちらがダイゴナカハマサンゴダイゴ間試験結果と、脆化の予測線を書いたものを母材のグラフでして、
0:16:13	先ほどの表は何やってるかとお申し上げると、
0:16:21	得点を書いているところが1.3、その日この表でいうと13×10-19乗で切れてますけれども、この切れているところの数字というものが、先ほどの表にあるところの数字です。一番上の実線の数字ですね。
0:16:34	それとダイゴ間試験の結果というのを、非常にマナベているというだけの表でございます。
0:16:40	つまり、本来ですと、今小の1.3×10-20乗というのが適用範囲でありますので、それ以上の脆化予測の傾向というのは、厳密には、
0:16:51	答弁式とかでしっかり提言示すというのは現時点では、機械もここに基づくできないんですけれども、やはり一般的には照射量が増えると、脆化が進行していくと。
0:17:02	関連温度でも高くなっていくというふうには考えられているところがございますので、そういう観点で申し上げると、この照射量が少ないときの関連温度より、
0:17:13	小さい、小さい関連温度実測値というのが肝試験をやられているということに関しては、コンマ予測の曲線というのは仮に13ページの20条、1. サングウ10-20乗を超えた時にそこができたとしても、
0:17:25	その予測の範囲を上回るような、基本的な間試験結果えられているわけではないと、十分に予測の範囲内と将来的にはいえるような感試験結果えられているというふうに、こちら確認、判断したということでございます。
0:17:40	それをちょっと2、日本語で回答の方に書いてございまして、ホンダ、
0:17:45	この表の表、今のグラフの話を表に並べてかけている形でございまして、城野伊賀間試験データを置いてられた関連を実測者、いずれも1. タテウチの時の間連続値を下回っています。
0:18:02	であるようにちょっと適用上限をこういう照射量の領域における関連は厳密には評価できないものの、一般的には照射量が増加するにつれて、材料の脆化が進行する関連温度高くなると考えられることから、
0:18:14	照射後9時前における乾燥温度予測値を下回る結果を上げられた高浜3号4号のダイゴ間試験データというのは、

0:18:21	特異な脆化が生じているようなことを示すものではないというふうに言って考えているといった次第の説明資料でございます。
0:18:28	はい。
0:18:29	ちょっと8月でしたが、こちら回答資料として準備したものでございまして、これがNo. 1-1とNo. 4について、まとめて回答させていただいた資料になります。
0:18:41	はい。
0:18:42	では、続けていかせていただきます。ナンバー7のコメントについては、過去に行ったシャルピーション試験の実測データのプロットとTr30の関係を示した分を、
0:18:54	補足説明資料に追加することということで、これ、補足の
0:18:59	42
0:19:00	電池は、
0:19:07	一つ、45%。
0:19:10	はい。
0:19:12	PDFで言って45枚目別紙の、
0:19:16	2ですね、に追加していることでございます。あと、申し訳ございません。ちょっと後ですね、ちょっとリビジョンの際に、下線部をちょっと消してしまっておりまして、本来このページですとか紺これからちょっと回答していく、補足説明資料に反映しているところにですね、
0:19:32	ちょっと下線部ですとか枠囲みの資格というのがちょっと追記できていない資料になって来た、しまっておりまして、大変申し訳ありません。ちょっとあの会議の3に上げる際に、会議の時の修正内容がちょっと、
0:19:45	元に戻ってしまったというか下線部だけ消えてしまっている状態になってしまっておりまして、
0:19:50	し修正内容としてはしっかり反映しているものを用いてますので、内容としては変更ないんですけれども、ちょっと読みにくいんですけれども、当社になります。そういう意味で言いますと、まずこの45から、
0:20:03	ページを追加しておりまして、各試験会場におけるシャルピーション試験結果としまして、
0:20:10	海路ごとに
0:20:12	グラフの、
0:20:13	色を変えているものを照射前から第5回の監視試験結果まで示してございます。こちらは部材の吸収エネルギーでして、
0:20:21	チタンは溶接金属の吸収エネルギー、
0:20:24	次のページにshallビジョン、熱影響が90年、こちらのグラフを載せているといったことでございます。
0:20:31	はい。
0:20:32	こちらの3号、4号が同様に追加しております。
0:20:37	タダノツガネ一緒なので割愛をさせていただきます。
0:20:42	ちょっと1本の方に戻っていただいて、次が、

0:20:48	続けていきますが、
0:20:51	ここ、まず、すみません、No.12 と、13 の方から先にいただけますか。すみません、12 がちょっと多岐にわたりましたので、ナンバー10 番が、監視試験はどのぐらいから採取したのか部材の選定理由も含めて説明することという回答でして、
0:21:06	こちらコメント内容に回答させていただきますと、Japp4201 に基づき、予知の診療に使用したもののうち、相当運転期間末期のRTNDT調子が最も高くなる鋼板を選定しております、
0:21:18	ナカハマサンゴらチャージナンバーが開きCD05-1-1 の材料ナカハマヤマウラチャージナンバー802783-1-1 を選定しております。
0:21:31	ただ、なお既エネルギー庁設置については建設時における規定に従っております。これは建設時における規定となりますと、尺で言うと1001980 のバージョンになりますけれども、
0:21:43	尺に基づいて建設してきておりました。
0:21:48	はい、こちらは中出さんは以上になりまして、次にNo.1070 人。
0:21:54	No.のすみません、No.12 の補足説明資料の修正のコメントでござい。
0:21:59	コメント内容といたしましては全体の動き等がないか確認することと、
0:22:05	あとお気づきいただいてしまった点から、ちょっと二つ指摘いただいてまして一つ目が3号の御説明資料について、今日のこの三種の各条件として2冷却計画除熱機能喪失が抜けてね追記すること。
0:22:17	34号ともにPカードのところの適用加熱率が適用冷却系じゃないか確認することというところの2点、ご質問、ご指摘いただいております、
0:22:27	こちら、コメント内容としましては、対応といたしましては、まずコメントいただいたところは大変申し訳ございませんちょっと誤りでございますのでご指摘いただいた通り、修正を施すそうとしております。
0:22:45	補助金、
0:22:51	交付。はい。申し訳ありませんここですね。
0:22:54	この表の5-2の、チタン双方のところの四つ目のポツ二次冷却系からの除熱機能喪失、これも今後、下線部があるべきなんですけれども、このサンゴ、
0:23:04	高浜3号の方はこの行が消えてしまっていて、高浜4号の方だと、これが残っているんですけども、本来あるべきがあるところが、
0:23:13	ある方が正しいので、それを修正させていただいているとシライです。
0:23:18	続いて72万。
0:23:22	違う。
0:23:27	はい。72ページ目こちらはPTカーブの、ちょっとリーグタイプ。
0:23:32	通常ホームページも、
0:23:35	同じだから、もう1でしたか。
0:23:40	すみません、73。
0:23:42	通常運転者の冷却制限曲線ですね、冷却制限曲線の表で、その下にある表の、今これもちょっとは全部はできてないんですけども、①評

	価条件の適用冷却系として直しているところ、これが適用加熱率になってしまっていたというところで、それも誤記を修正させていただきました。
0:24:00	申し訳ありません。それが2点目のやと思います。こちらの3号と4の両方を直させていただいているとして、
0:24:06	リストのほうに戻っていただいて、
0:24:11	すいません、全体を確認させていただいて、0ゴトウの統一も含めてですね、以下の点というのはすいません水回収させていただこうと思っております。
0:24:22	一つ目が、4号です。
0:24:33	保護基準1、
0:24:46	あ、
0:24:49	申し訳ありません。
0:24:52	追加で4000種4点ほど大きく修正しております、1点目中性子束の数字でございます。こちらですね、RVの特別点検のときの方のヒアリングでも、動きなし、この値が違うというご指摘をいただいて、その後岸申し訳ありません動きですとちょっと成果の時に補正させていただきますという
0:25:12	以前回答させていただいてるところになるんですけども、それでございます、
0:25:17	中性子束のこの中の11条の多数が十条になっていて、そこをちょっとナカタカミチ
0:25:26	ナカハマファン言語は正しくなってますけれども、ちょっと4号の方で数字がずれてしまっていて、
0:25:31	それを適正化させていただいて、
0:25:33	修正でございます。
0:25:36	全国でリストに戻す。
0:25:40	二つ目がですね、番号4号の補足説明資料両方でのチャージナンバーの表記に不整合があり統一するという表記をさせていただいております。こちらは、
0:25:53	3号でいい。
0:25:55	ファンとなんで少し記載のぶれ方が違っていたんですけども、11名。
0:26:03	90、そうです。
0:26:08	9ページ目であと別紙3の方にも同じようなシャーシ版が出てくる場所があるんですけども、それして、この3枚のインターの記載方法が、ちょっと修正前がなくて、わかりづらくなってしまってるんですけども、
0:26:20	ここはちょっと二重線を追加しております-1-1の追記してございます。
0:26:25	これももとの記載はですね、ちょっとわかりにくいけど、上と下-1-1がなくて、三つの三つのチャージ番号を束ねるような格好があって、全体2-1-1というふうな記載になったんですけども、

0:26:40	ちょっと表記の方法としては、これ 3 枚の板ですので、それぞれ分かれて書き記載するというのが本来適切だったということで、このような記載を印をさせていただいております。
0:26:52	別紙の 3 になるんですけども、
0:26:59	for
0:27:00	そこ。
0:27:02	別紙 3 の方を見ると、こちらも下部胴として 3 枚の板を行アベ 1-1 というふうにしていて、この書き方が正しかったので、別紙 3 の、これ以降のページでもちょっとその記載がずれているところが括弧になっているようになっていなかったりしていたので、
0:27:19	ちょうどこの徐イシタニ上部がありますけど上部度は、今二つのチャージを各戸に束ねたような形にして、こちらは上部度は、これはこれで、
0:27:29	清なんですけれども、角田の方がそのような記載になってしまっていたので、ちょっとそれを直させていただいていると。
0:27:34	アシダでございます。
0:27:37	これもちょっとサンゴでも両方直させていただいております、ちょっと下線部がなくて申し訳ないんですけども、修正している次第でございます。
0:27:45	ご質問、戻っていただいて出すともう 1 点が、こちらも気します。申し訳ありません誤記になりますけれども、345 のご説明資料の Pカードのところの表示の安全率のところ、2.0 から 1.5 注水するという、
0:27:59	ところで、こちらが一番最後、本日、
0:28:05	南條知見時の、
0:28:08	もっと大きくしていく。
0:28:11	エンジの羽根ツジです。
0:28:13	これでください。
0:28:15	試験時の加熱制限直線のところで、安全率をいま 1.5 年、これは直したもので 1.5 になってるんですけども、これはもともと 2.0 で記載されてしまっておりまして、こちら申し訳ございません。修正させていただきたいと思えます。
0:28:30	次のページに次のページに試験時の冷却制限曲線を、こちらは別の
0:28:36	フォントで、
0:28:37	ご指摘いただいたときにコメントで、対応として最後に、下の 1 あたりで追加したグラフなんですけれども、こちらのグラフは安全率で 1.1、1.5 と書いている。
0:28:47	内田でございますタダノモトのことから記載していた金ツジの電源曲線のほうの記載が、一度誤ったものでしまっていたということでございます。ぜひいただきます。
0:28:59	こちらがこのコメントに関してはちょっと修正ばかりで一緒に申し訳ないんですけど、直させていただきたいと思えます。
0:29:06	No.12 は以上でございます。

0:29:08	続きまして、Noって意味ではNo. 25 センナは頻繁あるけどなんか 21、もう補足説明資料に関するコメントですので、こちら前回ヒアリングの時にいただいたナカ 21、
0:29:22	こちらの章に記載されている、
0:29:28	なんか 20%ですから、もう、
0:29:31	ナンバー21 のコメントは、こちら前回のヒアリングでコメントいただいた内容で、表に記載されている形はイシイについてKJcアベはそれを判別できるように追記することということ。
0:29:43	こちらは、直接ベツショ別紙 6 の表でございまして、
0:29:49	62 万 140。
0:29:53	もう少し、
0:29:56	文章で、
0:30:00	木下。
0:30:05	ホームページで、
0:30:07	当耳から単列目の形はイシイのページのと、業務ですね、※書きを他へ何かフレーズをいただいております。
0:30:18	そして、これもすいません家庭も聞いてるんですけども、コメント以降、※2 までは駒田加古の補足にあった資料で、詰め 3 以降を今回追加させていただきます。※3※4※5 を追加させいさせ、
0:30:33	追加しまして、それぞれに、このときの形はCというのはこの※4 の記載に基づく値を記載していますということ。
0:30:43	掲示板強い確定であったり系はCGは、
0:30:46	JCといったところの、どれが該当するのかというのを、すべての方に※を打っておりますので、これによって一応形はイシイ中でも経営CEOと聞いているものについて判別中のこと。
0:31:00	ようにさせていただきます。
0:31:04	ここに関してのコメントというは、コメントで反映しているものは以上になりまして、次、続いて、パワーポイントの資料、審査会合用資料の 3 にもありますので、
0:31:16	ちょっと順番。
0:31:28	映していただいて、
0:31:34	ほぼ
0:31:36	ちょっとパワーポイントの方を映したままでご説明させていただきます。コメントとしては、5 点前回のヒアリングの際にいただいております、まず、
0:31:46	話。
0:31:48	12 時。
0:31:51	ページ名ですね、10 ページ目の技術評価の評価のところまず問 3、1 行目、3、1 行目のところで、監視試験結果関係括弧部外の(5)第 2、
0:32:05	発展引いてますけれども、ここが前回のヒライの時には何もなかったんですけれども、個別の箇所過去部材というのは、対 8 ページとかでは

	コウダイトウ追加して書いてあるので、高浜の方でも、そ、明確にするために、不具合の追記し、
0:32:20	すべきじゃないかというコメントをいただいたのでこちら反映しております。
0:32:25	続いて、中を、
0:32:36	そうですね。はい。16 ページのところも修正しております具体的な修正内容といたしましては、まずコメントではは、コメントをいただいたので反映したところが、
0:32:46	グラフは左上に入れているところめの記載でして、
0:32:51	こちら高浜 3 ダイゴぐらいの監視試験の照射量が、果たして何年相当に、また、
0:32:58	何年相当なのかというところ、これ評価書に記載されているんですけども、その数値というのを、このパワーポイント資料にも落とし込ませていただいています、
0:33:06	ちょっと小さいんですけども、※1、左側の高浜さんの図では、第 5 回監視検証車両は、原子力内表面から深さ 10mm の照射に換算数と、運転課長約 93 年戦争を、
0:33:19	右側のタカノ 4 号のグラフですと、※の 2 を受けさせていただきまして、運転開始後約 89 年に相当、
0:33:26	タダ※書きをついてきて、
0:33:29	まだですねこれはコメントの趣旨とは違うんですけども、その(3)の一番最後の行のところですね、こちら評価結果と共有、評価をしたという記載でとどまってしまっていて、こういう評価を受け、
0:33:42	規程自体はイシイアキヤマ局長が丸尾学園したというちょっと消火の結びの部分で 4 しかなかったんで、ここはあの明確化のために追記させていただいております。こちらの、ちょっとヒアリングで申し訳ないんですけどこちらに記載の充実ということで、主、吊りさせていただいてるものです。
0:34:00	続きまして、
0:34:03	22
0:34:06	はい。続きまして 22 ページのところと、
0:34:16	まず(1)の下から 4 行目のところですね、こちらが
0:34:22	前回の面です特別点検の検出の下限值も記載してはどうかというコメントをいただいておりますので、原子炉容器胴部炉心領域について実施した特別点検における超音波探傷検査、
0:34:35	の検出の性能というところを、ここに括弧で記載させていただいて、二つ 48 名以上の結果でも十分検出可能というところを、この帳簿探傷で追記させたいと。
0:34:47	もう一つここで、このページコメントいただいていたのは、

0:34:51	脆化予測予測式と、国内有数予測式に適用範囲がどの程度が上がる具体的な値を記載することというコメントをいただきましたので、こちらが、※1 に新たに追記しているところでございます。
0:35:04	下がちょっと小さくなって申し訳ないんですけども、適用範囲外というところに※書きを打ちまして、※打ちまして、14人バージョンって生活物資の適用条件に対しての、高浜3号、第5回の監視試験結果おっしゃると。
0:35:18	アオヤマのダイゴや試験結果をソーシャルという具体的だったり入れて、適用範囲になっているということが、ヤギ谷についてわかるようにしてございます。
0:35:26	丹羽弁理士。
0:35:28	次のページのところにはですね(2)上部棚吸収エネルギーですので、これも中段の※書きで、上部棚吸収エネルギーの予測式の適用上限に対しての、伴式の照射図というのを、MFさせていただいているといった時代でございます。
0:35:44	あとこの他のページにもですね多分、例えば8ページとか10ページにも同じような記載のところがありますので、
0:35:53	8ページちょっと見しつこく小さくわかりにくいんですけども、8ページ目の下、中段に※1で同じようなことを通知しておりまして、
0:36:01	これらは、番号のページにある高浜3号の外観試験照射量が全部促進適用条件に対してどの程度かというのを、先ほど同じKitaへの換算後のみを抜粋したものをホームページに通気しております。
0:36:13	同様に10ページ目には、
0:36:15	こちらナカハマ4号炉の結果のページですね、高浜4号炉について、照射量についての補足というのはここも※で出してください
0:36:23	私にごめん。
0:36:27	はい。そして25ページ。
0:36:31	あと二つコメントございまして、25ページ目、まず一つ目ですが、こちら前回のヒアリングの時にいただいたコメントですが、30年目と40年目のPTS曲線を一つの図上で比較する図を追加してはどうかということをごコメント、
0:36:46	いただきましたので、こちらの経年劣化傾向評価4分の4というところで、PTS紹介について記載をセキしております。左側は高浜三宮高浜4号炉でございまして、
0:36:58	この3号炉のPL30年の評価は二つ、こちら、①が2010年、20072010年追補版内田評価、②が20072013対5を用いた評価というところで、
0:37:11	こちら、③はPL40時点の評価。
0:37:16	括弧入れないですけども、P-11の評価なので、2013年追補内田評価して、こちらを三つグラフを示している次第です。
0:37:25	ちょっとわかり、一応補填を補足させていただきますと高浜3号炉の②と③はこれ同じ。

0:37:32	同じ線になっているのはTPが同じなので、同じ位置のグラフを指している ので、二つ。
0:37:38	裏がかぶっているといった、
0:37:41	ご理解いただければと。
0:37:42	ここは、
0:37:44	今後は三つ線があるんですけども、二つしかないのは、丸井都丸さん、 同じ線と同じイチノセを指しているか。
0:37:53	はい。最後に、ドイツのコメントは次のページでして、
0:37:59	こちらはコメントをいただいたのは審査基準の要求事項と評価結果の対 比を表にして追記することというコメントでございます。前はちょっとそ のシェアリングの時にはこの部分が、一応 2 行だけでしか書いていな かったので、
0:38:11	下にですね、延長にしようとする期間における要求事項の単位の中性 子照射脆化における記載というところで、要求事項と健全性評価結果 の対比をわかるように、表に追記させていただいてございます。
0:38:27	以上が審査この紙審査。
0:38:31	細胞用資料の修正点でございまして、いただいたコメントを反映させて いただいているといたしたいと。
0:38:44	はい。後、
0:38:46	上はすみません、ざっと走らせていただきましたけれども、コメント回答 としては以上。
0:38:53	規制庁藤川です再説明ありがとうございますそれでは今の説明に関し て質問コメント等ありましたらお願いいたします。
0:39:14	規制庁の渡部です。ご説明ありがとうございました。
0:39:18	藤。
0:39:22	とコメントのNoなあのと功労についてなんですけれどもちょっと改めてと いいますか確認させてください
0:39:32	以前、
0:39:33	回答をいただいている通りで補足説明資料の
0:39:38	別紙 2 のところでシャルピーの
0:39:42	野瀬曲線について監視試験の 1 回目以降はパブリック単純と、
0:39:48	し適用されているという回答をいただいているんですけども、
0:39:53	照射前っていうのは曲線っていうのはどう、どのように設定といえます か書かれたのかっていうのをご説明いただけますでしょうか。
0:40:07	はい。関西電力中崎でございます。そうですね。清社長以前の回答でも ご説明したかというように記憶してありますが、照射前の方につきましては、 公文の授業を用いた反動フィットによって、
0:40:21	ちょっと浮いて曲線を設定しているし、
0:40:23	思います。
0:40:27	規制庁ワタナベですありがとうございます。
0:40:44	規制庁藤川です。ちょっと確認させていただく。

0:40:50	んですが、
0:40:55	2-1、
0:40:56	中性子束 1.2 倍の話は、あれは今回、
0:41:01	説明はされます。
0:41:06	電力中田でございます。申し訳ございません。ナンバー2-9 についてはちょっと丸さん。
0:41:13	もう、
0:41:14	11 月 22 提出の反映整理表で追記コメント回答させていただきましたので、ちょっと申し上げませんから、説明が漏れておりました。ただちょっとこの追記している内容というのはですね、
0:41:26	すでにIASCCの方で何回かコメントのやりとりをしていただいて、今回新たにisイシイ側でも説明を資料準備しているもの。
0:41:36	と同じものを、清側にも反映しているというちょっとし、反映し方になってございますので、まとめてちょっとIASCCの方でご説明いただこうかなというふうに考えておりますが、そういうことですね。はい、わかりました。
0:41:51	あと照射脆化の方でちょっと、
0:41:58	戸松。
0:42:02	パワーポイントの 18 ページの圧力制限曲線なんですけど補足説明だと、
0:42:12	別紙の、
0:42:13	7、別紙 8 か。
0:42:16	ニシノ 8 なんですけど、これ。
0:42:22	3 号とかだと、3 号 4 号でもあれなんですけど、本に載ってるその圧力制限曲線等、
0:42:32	補足説明の圧力制限曲線、加熱制限曲線とか微妙に違うんですけどこれは、
0:42:39	ものが違うんですかね。
0:42:43	関西電力の中崎でございます。そうですねものが違いでございます、具体的には、パワーポイント載せているものは、運転期間 60 年を想定した 61 年のPTカーブということで、
0:42:56	評価書、評価書本文の方に載っているグラフと同じになります。
0:43:01	一方で補足説明資料の別紙 78 野瀬ているグラフというのが
0:43:08	本部への、
0:43:12	本カードというのはですね、現時点で発電所に対応しているカーブを載せているといった次第。
0:43:21	CFDは、
0:43:23	そうですね、40 円ヒライという適用期間を設定してございます。
0:43:28	次、現在実機に適用しているパンフレットでは 40 適用、
0:43:35	61 年はもっと大きい。
0:43:38	いえ、てことですね。はい。はい。わかりました。

0:43:43	おりましたと。そうだね。あと安全率を 2.0 から 1.5 にされてたんですけど、これPLM30 の時は、2.0 だったかなと思うんですけど 1.5 に変更されたのは何か理由はあるんですか。
0:44:27	すいません、関西電力がされるから。そうです。比較に基づいてやっているということで、誤記を修正したということをお伝えして伝えたんですけども、ちょっと吉良参事の時の今、プラスというのを、ちょっと事実確認をもう 1 回させていただきたいと思います。
0:44:43	終わりました。
0:44:44	お願いします。
0:44:57	あともう一つ、パワーポイントの 25 ページのところなんですけど、PLM。
0:45:04	30 と 40 比較ですね、あれで、
0:45:08	確認なんですけど、PAM30 の時は、このJEAG4201 の、
0:45:13	2010 を用いてたんですかね、それと 2013 もつか、
0:45:19	んですかね、これ。
0:45:32	と関西電力ナカザキでございます。とですね、当時の家、系列的には結構ややこしいマシン安くなってしまうんですけども、TAF30 の、
0:45:44	そうですね。まず、PR参事の時には
0:45:48	教科書の方にはですね、この 2.7 に戦術イ 5 番を用いた、評価結果と 20072013 年図表を用いた評価結果ってのが併記される形で当時、記載してございます。
0:46:01	PDSのグラフも両方関係者についても両方同じ表として併記している次第でございます。
0:46:08	一方で
0:46:10	どちらの評価が性というか、どちらの評価も併記して首藤 じゃ示していたという次第で、というのはですね高浜 3 号機 4 号機のPAの申請の時っていうのはまさにこの弱 4 に一応 20072013 年版が出て、
0:46:26	技術評価されて、規制庁さんにエンドースいただくいたかないっていうタイミングだったって。
0:46:32	そういうのもあって当時は併記した、いたのかと思っておりますが、結果的にはPLの 30 の認可の、
0:46:39	ほど前に技術評価が終わって完了している。
0:46:44	ていうような、まさにそういうスケジュールのところだったので、みんな化した段階では 2013 年追補版が正式なものとして技術評価に入っていたんですけども、またイムラは 1 ヶ月ぐらいだと。
0:46:55	初回申請の時にはそういうことなかったですし、規格は発行されていたけれどもというような状況だったということもあって、当時は両方の評価をしていたので、
0:47:05	本当に把握して、はい。
0:47:07	規制庁藤川です。2013 もやられてたんですね。わかりました。
0:47:12	その上で確認なんですけど、この、

0:47:17	3号のATP96度の算出っていうのはだから、
0:47:25	あれですか、
0:47:28	今の3号の補足説明の別紙6にある、
0:47:34	やつと、だから、
0:47:36	意識としてはもうこれこれと同じ算出。
0:47:41	同じ値、
0:47:42	第4回の監視試験もやられてたからそうですね第4回の監視試験使った同じ。
0:47:49	結局同じようなさ、同じ算出方法で求まる。
0:47:55	そういうことになりますか。
0:48:04	結果ちょっと関西電力なんかだけでございます。
0:48:08	第4回の監視試験を使っているですとか、2013年つユフ案を使っているという、大枠の評価条件はおっしゃる通り、全く一緒になります。ただですね、すべての数字一緒に計算し、一緒の数字を計算して同じ96になってるというわけでは、意味じゃなくてでございます、
0:48:27	というのは、中性子束についてはダイゴ外観試験取られた中性子束とかを、溢れる機器をしておりますしプラス高浜さんのそのPM30以降の運転実績等を踏まえてEFPI等も変わってございます。
0:48:43	なので、家が変わったりとか、鑄造変わったりっていうところは、ちょっと変わってるんですけども、それらがうまく対応しちゃった結果最終的なPTも96で買わなかったと。
0:48:56	いたところでございます。つまりほとんど同じで一部変わっているけれどもその一部変わったところをうまいこと打ち消しあって結果的に96一緒だというや、そういったところにちょっとここちょっと平易な表現ありましたけどそういったような、
0:49:08	認識がでございます。以上です。
0:49:13	なるほど。はい。
0:49:21	ここに照射脆化で質問コメントありましたら、お願いします。
0:49:28	規制庁、浜谷です。説明どうもありがとうございます。
0:49:34	8ページの関連温度のところ、パウポの8ページですね。
0:49:39	ここについて確認、
0:49:42	をしたいと思います。
0:49:47	この特異な脆化を生じていないというところなんです、
0:49:51	このところしつこく聞くつもりないんですが、一応確認をしたいと思います。ここで、
0:50:00	こここうだから、
0:50:01	特異なデータはそれでいないというふうに書いていただければ、質問なかったんですが、
0:50:07	以降とで、
0:50:08	の説明ですと、この右側の図の方の、
0:50:13	一番、この線のですね1番目に土師。

0:50:17	かけたところですね。
0:50:19	ここと比較し、
0:50:20	黒丸のところ、第5回監視試験の黒丸が、使ったよと、少なかった少ない値だったよという説明が、
0:50:28	あったかと思えます。つまり点と点を比較している。
0:50:31	呉ような説明だったんですが、評価書の方、
0:50:35	ですと、
0:50:36	大井適用範囲までのを、
0:50:41	予測結果の傾向を踏まえて、
0:50:44	というような踏まえて特異な脆化が生じていないことを確認したというそんな書き方されてるんですね。
0:50:51	そうすると
0:50:54	ポイントもそうなんですけども、
0:50:59	もっと手前から調査量の低いところから、
0:51:04	…てってこう伸ばしてった、
0:51:07	延長線とも兼ね合いで両方でコウを、
0:51:12	得意じゃないねと、それよりも低いから得じゃないねと。
0:51:16	そういうふうな、
0:51:17	つまり、何をいただいた傾向とそれからポイント。
0:51:21	この2点で、この特異な事例が生じていないという結論に達したということではよろしかったでしょうか。
0:51:58	はい関西電力の片田でございます。そうです。今言っていたところを、
0:52:06	ご認識の通りだと思っております。
0:52:09	おっしゃる通り、まず点と点の比較というのもございますし、あと傾向という観点では、やはりこの13×10-19条以降の線の推移というのは、当然厳密にはわからないけれども、一般的に照射が量が増えれば、当然脆化量は増えていくであろうと。
0:52:26	同じような傾きかどうかというのは当然わからないところありますが増えていくだろうというところを考えた結果、今回ノダ違和感試験の結果が、例えば本来予測される線の、それを上限を超えるような予測を超えてくるような、すごく
0:52:41	特異な成果を示しているような、そういう結果では間違いなくはございませんと、そういったところを確認した結果というのを、予測の景観の傾向を踏まえてという表現に、
0:52:53	かなりコメディ止めてしまう。ちょっと間がすごい短い表現にできてしまったというところが、
0:53:01	ニシウチ以上でございます。
0:53:06	はい、ありがとうございました。
0:53:07	話が変わるんですが26ページ。

0:53:13	26 ページには審査基準適合性という、新しく書いていただいたありがとうございます。書いていただいた対比の、
0:53:21	表が書いてございます。
0:53:24	健全性評価し、健全性評価結果のところの、
0:53:28	最初のPTSのところですね。
0:53:32	全然おかしくないんですけども、等が評価するって現在形になってたんですが、これ結果こうこうするだからもうこれはもう、
0:53:44	当たり前ですけども、
0:53:47	を評価したと同じ意味ということでよろしいですか。
0:53:50	よろしかったです。
0:53:52	水温ねという確認です。
0:54:07	すいません。関西電力中崎でございます。おっしゃる通りでちょっと明確化のために上回ると評価したとか、上回ったですとかそういったような形で、直させていただこうと思いますし、おそらく、ちょっと、
0:54:21	修正ばかりで申し訳ないんですけど補足説明資料の方もですね、このような記載にしていたかというふうには存じますので、適切にちょっとこのパワーポイントを直しつつ補足説明資料の方を修正させていただこうと思います。
0:54:36	実は前ですが日本語として公表何らにした結果何するのがおかしいというわけじゃないんですけどそちらの方で検討していただければと思います。私からは以上です。
0:54:52	規制庁藤川です他に質問コメントありましたらお願いします。
0:55:06	すいません規制庁ツカベですが、
0:55:09	それじゃ久井米丸一井の適用範囲を超えている第 5 回目の監視権の取り扱いについて、
0:55:19	考察をいただいたということで、ちょっと前回もお話しさせていただいたかもしれませんが、
0:55:28	例えば、
0:55:31	14 ページのPPS。
0:55:35	の結果でありますとか、
0:55:37	あと、16 ページ目の方の、これは実測値に基づく評価について、
0:55:44	衛藤木崎どちらも、第 5 回の
0:55:47	データは使っていないという、
0:55:50	ことかと思うんですが、それはその理解でよろしいでしょうか。
0:55:58	関西電力仲田でございます。おっしゃる通り 14 ページにある深さ準備の評価結果と、15 ページにある深さ 5mm の評価結果のところでは、第 5 回なのか、
0:56:09	破壊靱性値の値は使ってございません。
0:56:16	わかりました。そういう意味で実績のところは、それでちょこっともないところは、
0:56:22	第 5 回もプロットして下限を引いているもの。

0:56:27	そうですね。すいませんちょっと。
0:56:30	補足させていただきますと、まず 1045 のところについては、おっしゃる通り第 5 回の監視試験結果というふうに生かして、何かしらパラ入れているパラメーターとしましては、
0:56:43	ダイゴ外観試験でられた中性子束照射の中性子束は、踏まえた上でシフト量の算出でございます。ただ、ダイゴbyのこの破壊ダイゴイワイ、破壊靱性試験結果とかは、ここには入っておりませんので、1 から 4 階までのもので、
0:57:00	下限をとっているのが 14 ページと 15 ページです。一方で 16 ページの、
0:57:08	詳細静観をシライソウノマエネ実測データ除く評価結果ここに関しては第 5 回のもも、実測値を用いますので、第 5 回の結果、予測がいらない評価なので、予測式の適用範囲というのは、関係なくなりますために、
0:57:22	第 5 回の結果を使って、そこまで
0:57:28	無償第一課で課題を迎え、過去の 3 試験データをシフトしたものを、下限を引いてますのでここにはダイゴ外観試験の破壊靱性試験結果は入っております。
0:57:39	以上です。はい、規制庁、わかりました。で、
0:57:42	仮に
0:57:44	衛藤。
0:57:47	弱の予測式を持ち 14 ページ目の方で、
0:57:52	第 5 回、
0:57:53	のデータを入れた場合どうなるかというのを、
0:57:58	マイナス側に行くんだと思うんですが、
0:58:02	その際その第 5 回のデータが
0:58:07	保守的なものになるか非保守的になるか。
0:58:11	この客曲線の方がどちら側に動くのかというのは、
0:58:17	セキとされていますでしょうか。
0:58:39	関西電力中崎でございます。そうですね
0:58:44	ちょっと、まずその部分に関してはやはりダイゴ外の結果をシフトするという観点で、予測式による、
0:58:52	他の属地をも認め求めなければいけないためにやはり厳密なシフト量というのが、
0:58:58	算出できないことになってしまいますので、
0:59:02	そういう意味では規格に基づくシフトが算出できない以上、厳密に、左舷を更新するのかわらないのかというところは、
0:59:12	言えないという形のことか課題になってしまうかと思われます。
0:59:17	はい。店長ツカベです。そうですね。
0:59:21	それを理解した上で新しい
0:59:26	監視試験の破壊靱性データがえられていることに関して、

0:59:31	ある種、PTSの
0:59:35	赤字性遷移曲線側は今回、PAM30とも変わらない曲線となってしまうので、その獲られたデータが有効に評価されていないようにも、
0:59:47	見えてですね。
0:59:48	それが仮にその、
0:59:50	既存の評価の、
0:59:54	から考えても保守的になるんですということであれば、
0:59:58	アノイマセ説明性もあるかなと思った次第で聞きました。
1:00:05	すいません今の感想です。
1:00:11	あと2点ほどなんですが、一つが先ほどの、
1:00:15	衛藤。
1:00:17	ワーポイント資料の16ページ目のその将来属を伴わない実測データのところで、
1:00:24	こちらの
1:00:26	線の引き方について、他電力さんですと実際にその
1:00:33	都丸とか三角とかをつけて、
1:00:36	その野瀬アノ。
1:00:38	移行させた下限を引いているというのがわかるような形で図を示していただいている。
1:00:43	所。
1:00:44	もあるかと思うんですが、
1:00:46	そういうような形でお示しいただくことは可能でしょうか。
1:01:03	はい監査委員の中崎でございます。はい。可能性あるというかそうさせていただけるとのこととします。ほぼ評価書の方で提案の確約にしていなかったんでしたので、こちら評価したグラフと同じ。
1:01:17	しているんですけれども、点をつけたグラフにすることは当然可能ですので、それ、そうさせていただきますかと思えます。
1:01:26	はい、そうそう。予測のポイントを直す、そういう意味では最終的には、両方直していただいた方が、
1:01:34	いいかなと思っているんですが、
1:01:39	ただ、今言ってるのは予測式に基づく、
1:01:44	ものについてはTPの出し方を、実際、かなり詳しく補足説明資料でいただいているのに対して、その奨励足を伴わない方は、
1:01:53	全く説明がなく、どのデータを掲げになってるのかもわからないのでそれを明らかにしていただきたいという趣旨なので、
1:02:05	評価省の方が、どういうのがいいかというのは、ちょっと今の段階で、
1:02:10	私自身、どっちがいいのかわからないんですが、
1:02:15	直していただいてもいいと思いますし、ちょっと先行電力さんがどういう形で、
1:02:21	記載した方も評価書の方にも書かれていたと思うんですが、仮に書けるのであれば書いていただくという方法もあるのかなと思います。

1:03:27	すいません、河西中崎です。ちょっと先行プランアノイマダし、先行プラントとちょっと確認してきたと確認しつつ、記載について検討させていただきたいと思います。
1:03:38	はい。はい。よろしく申し上げます。もう1点が補足説明資料の、
1:03:43	No. ぷー
1:03:46	は別紙の5-5の2ページ目のところでPTSの
1:03:51	これ拡大係数の計算の条件を書いていたいただいているところで、
1:03:56	応力解析のところに関して絶句の、
1:04:01	どの規定に基づいて、その熱伝達率とかを、
1:04:08	算出してますということ、先行の大井の
1:04:12	3とか4では書かれていたかと思うんですが、
1:04:15	今回そこ消された何か趣旨はあるんでしょうか。
1:04:30	すいません。関西の岡崎でございます。そうですね。ちょっとすいませんそこに関して先行プラントを含めさせていただきつつ、ちょっと必要であれば記載充実等、検討させていただきたいと思います。申し訳ございません。
1:04:42	はい。
1:04:44	私からは以上です。
1:04:51	規制庁フジカワです他に、
1:04:53	H照射脆化のところで、
1:04:56	いつも
1:04:57	とありますか。
1:04:58	大丈夫ですかね。
1:05:00	はい。では、
1:05:02	続いての説明をお願いいたします。
1:05:08	はい販売電力の久慈でございます。そうしましたらIASCCの方、ご説明させていただきたいと思います。
1:05:16	コメント反映整備等の方お願いいたします。
1:05:22	はい。
1:05:26	えっとですね、まず最初になんですけども
1:05:30	ナンバー4でも、その1.2倍の航路のところの根拠のところについて説明することということで、従前の売り上げとやりとりさせていただいてるところの回答になるんですけども、ちょっとすみません、内容の方なんですけども、ちょっと、
1:05:47	ナカ2 マスキング仮称がありまして、
1:05:52	基本的には、議事メモの中をちょっとお聞きしていただくか、もしくは不具合2というところでちょっと、
1:06:02	お願いしたいとは思ってるんですけど
1:06:05	そうですね結構マスキング箇所しゃべらナイトウやりとりできないですねここ。
1:06:11	だからちょっとその間だけ録音に一瞬止めます。

1:06:16	承知しました。はい。
1:06:19	藤。そうでしたら説明の方させていただきます。ナンバー4でございます。
1:06:24	目的2番の構造について説明することということで、本日、ご質問コメントいただいております。
1:06:32	補足説明資料の別紙2、
1:06:36	の方に、A+Pタダ、モンマ、
1:06:41	ここから、
1:06:43	この二重枠の中追記させていただいております。ちょっとこの中について説明させていただきます。ここからちょっとその中に、
1:06:54	説明させていただきます。
1:06:57	引き続き説明させていただきますけれども、これ以降は特にマスキングの箇所等はございません。
1:07:07	片付けてよろしいでしょうか。
1:07:11	お願いします。
1:07:13	関西電力の辻でございます。続きましてナンバー7になります。こちら審査会合資料についていただいたコメントでございます。
1:07:22	最後のページ18ページのところに、UTの検査の垂直法、1たん方の説明、について、ずっと合ってますかということでコメントいただきました。
1:07:34	1たん方というのは、3職種から発言された以降が同じ探触子で、受振されるものになります。担当というのは、発信した感触人受信する担当者、
1:07:50	フジイが大きくなるものになってございます。
1:07:53	こちらの審査会合資料の18ページに示させていただいておりますのは、
1:08:00	下が小さくて申し訳ないんですけども、ある探触子から出たコガ、同じ探触子に入ってきている矢印が更新していますけども、
1:08:11	こういった円になっているかと思っております。
1:08:14	これは一番コウというものを示しているものでございます。
1:08:19	ちょっと前回、ご質問されたのは
1:08:24	探触子が2個あるのでこういったご質問されたのかと思っておりますけども、バッフルフォーマボルトの頭については、東部には、
1:08:35	それよりへこみ真ん中のところがちょっとへこんでいると思うんですけども、そういったへこみ部位があつてですね、その上に
1:08:47	回り止めフィンガーについてるんですけども、
1:08:51	この上に、探触子を行っても、結構、ちゃんと、
1:08:56	取れないので、
1:08:58	探触子としては、ここ野瀬リアルのところを避けて、2ヶ所に設置していると。
1:09:07	いうものになります。

1:09:09	Ⅲ割の直販のところっていうのは、比率の検出性は低下する部分ではあるんですけども、コウ自体がアノヒラガってか、拡散するようなものになってますので、見たいところであるポルトの首下の部分、
1:09:23	というのは全体として測定できる、できているという状況になってございます。
1:09:30	こちら、No.7 の回答でございます。
1:09:34	それでNo.8 の回答ですけども、
1:09:37	ご質問が、底面エコーがBワンとB案'の二つあるのはなぜかということで、コメントいただいております。
1:09:46	DワンとB案' えっと、これいずれも底面のエポというのを示してございます。
1:09:53	Pワンバスっていうのは、
1:09:57	探触子から出た以降がですね、途中でポルト側面で反射して、その反射されたのが底面でまた反射して、それで戻ってきたエコになります。
1:10:09	側面、先ほどちょっと申しましたけども、以降が広がりを持ってますので、こういったふうに側面で、
1:10:20	反映させる。
1:10:21	本当にコウがございませう。
1:10:23	反射したときに、縦波から横波に変換される。
1:10:28	ことがありますし、そのときに、横波になったときに、横波の方がVナカ進展するスピードが落ちますので、
1:10:39	結果として横波がある部分、遅れて以降が検出されるというものになります。
1:10:47	幅が狭くて、縦に長いというこういうポルト形状みたいな場合にこういった遅れエコーというものが生じるということが言われてございます。
1:10:59	B案場所については、これを示してございます。
1:11:04	続いてナンバー9 のコメントですけども、13 ページのところ、第9 款経験でのUT検査の本数が全数の半分であることを記載することというコメントいただいております。
1:11:18	こちらについてはもうこの通り記載させていただきます。
1:11:22	No.10 についてですけども、12 ページ目のところは発生応力線図の出典を記載することということでコメントいただいております。ちょっとこちらについても、
1:11:34	旧JNES殿のIECの技術評価報告書から引用しているというところで追記させていただきます。
1:11:43	最後No.11 ですけども、審査会合資料の15 ページ目16 ページ目のところ、実機条件の温度について、麻薬をつけるなど適切な表現を見直すことということで、
1:11:56	当該場所等、あと関連箇所として5 ページから8 ページ目のところ、その辺り含めてどんどんところに薬をつけさせていただきました。また補足説明資料にも同じような記載してるか、1ヶ所がございませうので、

1:12:12	同じように、逆をつけさせていただいてございます。
1:12:17	以上IBCの説明でございます。
1:12:22	規制庁フジカワで説明ありがとうございます。それでは、質問、コメント等ありましたらお願いいたします。
1:12:35	規制庁の渡部ですご説明ありがとうございました。
1:12:40	えっとですね、
1:12:42	コメントナンバー10番のところで審査会合資料の12ページのところで
1:12:50	バレエ発生応力線図の出典後記載いただいたと思うんですけども、
1:12:56	JNESの報告書の評価手法だと、バツフルフォーマボルト材とあとシングル中座Eで割れ発生を6000円引かれていると思うんですね。
1:13:08	ちょっと今更になってしまっていてちょっと恐縮ではあるんですけどもアノ、引用する場合は両方の線が必要なのかなと、ちょっと思うところではと いいですか、ガイド上、
1:13:21	そう、そういう評価だと思っているんですけどもその辺りについていかがでしょうか。
1:13:51	関西電力のぜひでございますけど、ここはですね旧JNES殿の報告書、確かに引用はされてるんですけどもそこでも日本の件があってということなんですけども、
1:14:05	今回ババfaultの評価をしているということで、バツフルフォーマボルト材で取得された実験データをもとに、しかれたバツフルフォーマボルトのしきい線で評価するのが、
1:14:20	妥当のかなというふうに考えてございまして、
1:14:23	そういった意味で今回ちょっと、
1:14:28	記載させていただくのは、この本文との織、検討させていただきたいなというふうに考えてございます。
1:14:38	規制庁の渡部です。
1:14:40	郷収支については理解いたしました。
1:14:44	ただJNESの報告書の手法見ますと、バツフルフォーマボルト材とあわせてシングル駐在のしきい線を、
1:14:56	引いてですねバツフルフォーマボルト能評価としてコウ、
1:15:04	割れが発生する領域ですとか、そういったところを記載されて、
1:15:11	いたと思うんですねそ、その
1:15:15	バツフルフォーマボルト材だっけ。
1:15:18	せんでは評価されていなかったと。
1:15:22	もう呉のシングルチューブ材のす割れ発生応力線もあるのが適切なのかなと感じた。
1:15:33	次第でございます。
1:15:42	関西電力の辻でございます。ちょっとそうしましたら、少しちょっともう一度検討させていただきまして、評価としてはバツフルフォーマボルト材の隙線で評価しているということは、

1:15:55	変わらないんですけどもちょっと参考として、地権者の、FTPのこの式以前も載せるかどうかというところもちょっと検討してみたいと思います。
1:16:09	以上でございます。
1:16:11	規制庁渡部ですはい、お願いします。
1:16:22	規制庁甘利です。
1:16:26	等、
1:16:29	ボックスの
1:16:31	20%の話なんですけど、
1:16:36	だから、
1:16:37	4番ですか。
1:16:39	で、
1:16:44	数字は話しませんが、
1:16:47	債務の合計というところにプラス 20%って、
1:16:52	ここは言ってもいい。
1:16:55	ぴったりの数字が飛んで出てるんですが、どれくらいの保守性があるのかなって考えたときに、上の文章を見ると、本評価で保守的な想定としてそのような状態を想定したと。
1:17:07	そのような書き方をされています。で、
1:17:11	この木造新燃料が炉心の最外周に配置されている。
1:17:17	というのが保守的な仮定で、
1:17:19	あるということ等、それから、どの程度保守的なんですかという、
1:17:24	いうことに関してちょっと確認をさせていただきます。以上です。
1:18:39	関西電力の辻でございます。
1:18:42	えっとですね最初のMOX燃料が最外周にあるというところはちょっとご認識いただいた通りでして、実際に
1:18:52	評価に効いてくる最も厳しい位置の最外周に置かれてるっていうのは
1:18:59	常にその心にMOX燃料が置かれているというわけではなくてですね。
1:19:04	ウラン燃料が置かれたりするということも十分あり得るんですけども、そういったところも踏まえて今回の検討においては、常に災害時にも複数新燃料のMOXが置かれていると、評価に一番厳しいところに、
1:19:22	置かれているというところで、そういう厳しい評価条件で、
1:19:29	検討していると。
1:19:30	いうところで、十分保守的な評価ではないかなというふうに考えてございます。
1:19:37	江藤そのあたりをちょっと定量的に示すとすると、なかなかちょっと難しいんですけども、
1:19:44	今の不
1:19:46	と今ちょっと検討。
1:19:49	それと、それはちょっとぱっと思いつかないんですけども、そういったところで十分保守性はあるのではないかなというふうに考えております。

1:20:03	軽重一定量的というふうなのは難しいと思うんですが、
1:20:08	だから必ずこれよりは少ないよということは確実にいえるというふうな理解ですかね。
1:20:16	そのように理解しました。その理解でよろしいですか。
1:20:20	関西電力の辻でございます。ご認識いただいた通りだと思っております。
1:20:26	例えばここの中で言っている項目 123 とかですけれどもプランの 235 とかプルトニウム 239 という幻想でくらべてるんですけども、実際ウラン燃料とかMOX燃料っていうのは、
1:20:39	必ずしもこういった燃料全部U235 とか、NISAプルトニウム 239 というわけではなくて、かなり極端なところ検討していると思っておりますので、
1:20:52	そういった意味では、その中にも誤字ではあるのかなと思っております。
1:20:57	以上でございます。
1:21:00	規制庁アマヤです。
1:21:02	つまりその 20 の中にも起こって、この数値を組み上げナベタ中にも干渉はあるし、
1:21:09	その他にも、さっき言った 1 の上でも、これ以下だよという保守性が、
1:21:17	未満になるよというそういう保守性があるという、
1:21:21	そういった認識でよろしいですか。
1:21:24	反対電力の辻でございますアノ等もご認識で結構ですこの二重枠の中でもご修正はありますし、最初おっしゃっていただいた 1 の配置の関係での保守性というのもございます。この 1.2 倍っていうの中には、
1:21:40	その配置の保守性っていうのは考慮してません。実際にはこれに、これが、このもうちょっとこの融度も含まれているというふうに考えてございます。
1:21:51	以上です。
1:21:53	規制庁アマヤイクタマaとアマヤです。了解しましたありがとうございます。
1:22:01	規制庁スズキですけれども、
1:22:03	今議論になってたこの表がありますけれども、2-4 ページの表ですけども、
1:22:09	そん中の①から④の中で、
1:22:13	方がプラスのものとマイナスのものがあると。
1:22:16	特に④のところはですね、
1:22:19	寿命の初期Dの数字というふうに、
1:22:22	あるんですけども、これは初期でなくて使え、しばらく使ったら、
1:22:28	この数字が、
1:22:30	ゼロに近づかっていうふうなふうにも見えるんですね。そうすると、
1:22:36	川
1:22:37	の所、
1:22:39	けれども、

1:22:45	ホソノ。
1:22:46	いるのかという。
1:22:54	力のツジでございます。④のところ、ご指摘の点ですけども、
1:22:59	これ新年度のMOXとウランで比較した場合で、MOXの方が●●(非開示情報)ほど反応度が低いということでそういうふうにさせていただけるんですけども、
1:23:11	ご指摘の通りどんどん燃焼度が高くなっていきますと燃えていくと、どんどんそのウランとMOXの差というのはなくなっていくます。
1:23:22	ただしですね絶対値としてMOX性能アノ認証、反応度というのはどう、どんどんどんどん落ちていきますので、
1:23:33	絶対値としては、
1:23:36	反応度は落ちますノムラに比べたら、その●●っていうのはだんだん減少していくんですけども、絶対値としては落ちていくということで、
1:23:48	炉内構造物とか、原子炉容器の照射の影響を考えた場合には、そういう現象が進んだときの場合っていうのはそれほど評価に影響しないと。
1:24:00	いうふうに考えていて、一番評価に影響してくる、新年度入れたときにどうなるかというところを、ここで検討しているというものになります。
1:24:10	一般的にはですね結構燃焼度が進んだ燃料というのはなるべくその炉心の中の方に入れていくということもありまして、
1:24:20	評価する上ではこういった新年度の寿命の初期に比較するのが、妥当だというふうに思っております。
1:24:30	そういう意味で、この●●っていうのを、評価として使っているというものでございます。
1:24:37	以上です。
1:24:43	規制庁。
1:24:43	わかりました。
1:24:50	規制庁日高です。
1:24:52	江藤。今の表の中で、①②③④というふうにあるんですけども、この中で、
1:25:00	江藤ハンドブックとかを用いて、
1:25:04	いらっしゃるんですけども、
1:25:06	その
1:25:07	高浜 34 号機としての独自の評価になるルーというようなものっていうのは、この①から④の中で、
1:25:18	本どれが該当するんでしょうか。
1:25:28	都築。
1:25:36	産廃電力の藤でございます。高浜 34 号独自でというものはなくてですね。
1:25:44	江藤。基本的にどのプラントでも同じようにというふうに考えてございます。
1:25:51	以上でございます。

1:26:05	規制庁日高です。
1:26:07	そうですねおっしゃること、了解、理解しました。
1:26:13	これ一、
1:26:14	考え方だ。
1:26:16	が、
1:26:18	他プラントとは多分異なると思うんですけども、
1:26:23	何か、
1:26:24	横並びで違う理由とあって、ご存知だったりしますでしょうか。
1:26:32	関西電力の辻でございます。例えば玄海さんの方で説明されていると思うんですけどもMOXの年度入れたときに、
1:26:42	何倍入れるかっていうところで、まず 1.2 倍というところをまず検討されているとあっていて、そこは高浜 34、玄海 3 個も同じになっていると思います。
1:26:53	その上で、玄海さん、ちょっと
1:26:57	ヒアリング資料とか見させていただくと、最初の方でちょっと説明しましたけども、MOXの新年度の配置。
1:27:05	実際には、常に最外周に、炉心燃料があるってということはないんですけども、ここではこういう想定してますっていう説明させていただいたんですけども。
1:27:15	玄海さんの方は、実際に炉心の配置まで考慮した上で、これぐらいの
1:27:23	増加量だということまで出されているということになっているかと思っ てます。
1:27:30	なので、ちょっとこういった違いかなと思います。1.2 倍の考慮までは一 緒かなというふうに思っております。以上です。
1:27:59	規制庁肥田です。
1:28:02	そうですね。ちょっと私の理解が間違ってたらあれなんですけど、
1:28:07	確かに 1.2 倍っていう数字は一緒なんですけども、その根拠の考え方そ のものっていうのはちょっと違うような、
1:28:16	と思う。
1:28:17	もう、
1:28:19	いかがでしょうか。
1:28:24	当関西電力の辻でございますちょっと詳しくは承知してないんですけども、 基本的にはこの考え方と同じかなとあっていて、ただ、
1:28:36	詳しくわかってないですけど玄海さんの方は実際に
1:28:41	実績炉心が平衡炉心か何かMOXとウランで比較されてこのデータにな るところまで確認されているのかなというふうに認識しています。
1:28:53	以上でございます。
1:28:55	規制庁飛田です。例えば関西電力さん。
1:28:59	の方で、ハンドブック等を用いている話が出てるんですけども、
1:29:06	こういったものを、
1:29:08	もう同じ

1:29:10	衛藤。
1:29:13	使い方を持ち機種衛藤他プラントを用いているという考え方でよろしいでしょうか。
1:29:23	関西電力の辻でございます。当社プラントについては同じように考えて、こういう二倍の抗力の考慮の際には、こういう考え方も聞いてやってございます。
1:29:40	ちょっと
1:29:41	他社さんのはどうかということまではちょっと詳しくはわかってはいないんですけども、
1:29:47	基本的には同じメーカーさんでやってらっしゃるので、同じ考え方じゃないかなとは思ってるんですけども。
1:29:56	すいませんそれぞれの程度しかちょっとわかってないんですけども、以上です。
1:30:01	規制庁日高です。了解いたしました。ありがとうございます。
1:30:04	規制庁都築ですが、ちょっと、
1:30:06	確認させてください。
1:30:08	よくですねメーカーさんの方からトピカルレポートというので
1:30:13	企画課、
1:30:16	明石様です。
1:30:17	標準化されてるっていう扱いがですね、そういうものがあるんですが、この燃料の場合はそういう例えばレポートのようなものの対象にはなっていないのでしょうか。
1:31:14	関西電力の辻でございます。ちょっと、トピカルレポートというのがちょっと出ているかどうかまではわかってはいないんですけども、MOX入れる時に設置許可の申請等もしておりますので、
1:31:28	そういったものを出しているものなのでトピカルレポートを個別に出すということはしてないんじゃないかなというふうに思っております。以上です。
1:31:44	規制庁鈴木です。わかりましたもし、
1:31:47	後日でも何か何か関連する情報があった機会をテーマと、
1:31:53	説明をお願いいたします。
1:31:55	もしあればですね。
1:31:57	関西電力の辻でございます承知しましたちょっと確認させていただきます。
1:32:14	規制庁甘いです。話変わりますが 14 ページ、お願いします。
1:32:20	前か飯野常盤、特に言及しなかったんですが、これよく読むと、すみません関西ですけどちょっと今音声が大分小さくなって、
1:32:31	ゲートが始まってますけど、
1:32:37	はい。
1:32:39	規制庁前です。聞こえますか。はい。はい。すいません。
1:32:44	14 ページ、パウポの 14 ページで、

1:32:48	確認なんですが、
1:32:55	これけ、6ポツの経年劣化傾向の評価ということで、パラグラフが123四つあってですね。
1:33:02	そのうちの三つの三つ目のプロフォーマーボルトについては
1:33:06	下の方なんです、
1:33:09	運転開始後60日においてボルト損傷が発生しないと評価して、
1:33:15	許可して次回、
1:33:17	牛の健全性に影響を与える可能性はないと考えるってこう書いてるんですが、
1:33:23	こういうふうに書いてるのは、ここだけでは補足説明資料でも、
1:33:29	可能性は小さい、評価書も小さい。
1:33:33	それから例えば17ページのまとめもですね、小さいと評価したとかですね。
1:33:39	こないとかですね発生しないとかっていう暫定的な表現は、
1:33:44	ないんじゃないかなって思っています。
1:33:47	確認
1:33:50	では
1:33:52	評価は小さいけど、
1:33:54	与える影響はないと考えたわけですかという確認です。
1:34:09	関西電力電力の辻でございます。すいませんちょっと表現については、ちょっと他と社員もあるということで、
1:34:18	ちょっと他の表現にちょっと合わせさせていただこうかなと思います。
1:34:25	すいません。以上でございます。
1:34:28	清玉井です。そうですね。整合させるといいかなと思います。以上です。
1:34:40	規制庁藤川ですちょっと確認なんですけど、炉心槽のところで、
1:34:47	この深層、この間、
1:34:51	大浜市でしたっけなんかあのときも同じような質問したんですけど炉心槽について
1:34:57	実際にVpⅢか何カーそのあれ実際炉心槽のあれを確認されましたか、その高浜3号4号について、
1:35:09	関西電力の辻でございます炉心槽についてはですねISI通常のISIの時に、炉心槽の点検と宣言はしてございまして、
1:35:22	ロビンソンで割れが発生したところの、そのISIのときに、ちゃんと見えている部位になってございますので、Is値で確認してございます。
1:35:35	本日ちょっと高浜1号の時に説明しましたISIで確認したビデオカメラをさらに細かく、
1:35:47	もう1回見直したって作業は、高浜34自体は、実施はしてございませぬけれども、
1:35:54	通常のIHIへ確認しているという
1:35:57	ところでございます。

1:36:00	はい、わかりました。ちなみに直近の高浜 34 のISIっていつになるんですかね。
1:36:10	これ確か 10 年に、
1:36:12	かいいずつでやってるんですけど、すみません、確認ですけど。
1:36:40	あ、
1:36:40	関西電力の辻でございます。投信等についてはですね 3 年に 1 回の頻度で実施してございまして、最近実施したのが、2020 年、20、2020 年度の第 24 回点検。
1:36:55	にございます。
1:36:57	以上でございます。2020 年に見られたと。はい、わかりました。
1:37:04	ありがとうございます。
1:37:09	中国社長の小嶋です。2020、
1:37:14	年度、
1:37:16	確認、
1:37:19	うん。
1:37:22	次は、
1:37:24	どこで確認する予定でしょうか。
1:37:30	関西電力の辻でございます。す。
1:37:35	これ 27 回定検辺りでやる予定にしております。
1:37:47	越後千葉です。わかりました。
1:37:55	27 回経験で、今何回定検でしたっけ。
1:38:32	今、第 25 回で 1 すいません 26 回定検。
1:38:38	になってますので、この次の提言ということになります。
1:38:48	はい、わかりましたありがとうございます。
1:38:53	他に、IASCCの関係で、
1:39:00	すみません規制庁ツカベですが先ほどのMOX燃料の 1.2 倍の件で、
1:39:05	刀禰のために確認しておきたいんですが、
1:39:08	もともとはその公印で 1.2 倍という数字を使っていて、その考え方を聞かせてくださいということをお願いしたもので、
1:39:17	それでは新たな説明を求めたわけではなくて既存の日アノ 1. 二倍の根拠を説明してくださいということを、
1:39:25	お願いした。
1:39:27	と理解しています。で、今回ご回答いただいた内容っていうのは、そういうのは既存の工認でもこの考え方に基づいて評価、1.2 倍という数字を使っていますという、
1:39:38	ご趣旨でよろしいでしょうか。
1:39:41	関西電力の辻でございます。そのようなご理解で結構でございます。ゴトウGの評価の考え方のところでメーカーさんからちょっといただいた資料も、

1:39:53	ずっとこの内容でお聞きしていて、それをちょっと工認の中ではあんまり詳しくは説明はしてなかったんですけども、あの当時からの考え方で、我々としては
1:40:06	考え方じゃこの考え方かということで認識してございます。以上でございます。はい、規制庁ツカベさんわかりました。あともう1点なんですけど今回そのマスキングをされているんですが、
1:40:19	この影響の要因というのが、そのマスキングをかけるような内容なのかということなんですけどその上の方の文章では、
1:40:29	幾つか例示をされていたりするので、
1:40:34	要因というのが
1:40:36	企業の、
1:40:38	何かノウハウとかに当たるようなものなのかっていうのちょっと、
1:40:42	わからないんですが、その辺りはどういうお考えなんでしょうか。
1:40:51	関西電力の辻でございます。ちょっとちょっとメーカーさんとも相談したんですけども、ちょっと上で書いてるところもあるんですけどももうパツとマイちょっと思いつくところも、
1:41:04	たりはするんですけども、実際に評価なんかをして求めているところもあったりして、ちょっとこういう項目自体も、メーカーさんとしては、企業秘密かなというところで、ちょっとご意見いただいでいてちょっと今回はこういう形で、
1:41:22	出させていただいているというものになります。
1:41:26	以上でございます。
1:41:29	はい。基本的には
1:41:32	委員会とか規制庁も含めて、その出せる所。
1:41:36	情報を出すというスタンスなので、今回メーカーの方にも確認してということなので、
1:41:44	個別の判断は当然あると思うので、そこは、
1:41:48	結構ですが、
1:41:50	基本はコウ海田という認識でお考えいただければと。
1:41:58	関西電力の辻でございます。ちょっとケースバイケースではあるんですけどもなるべくちょっと公開できるというか公開すべきなので、公開できる場所は公開するようにしたいと。今後ちょっとという。
1:42:11	認識のもとで進めたいと思います。
1:42:15	以上でございます。
1:42:17	了解しました。私からは以上です。
1:42:22	はい。衛藤。規制庁藤川です。
1:42:26	工認っていうのは、新基準工認ですか、それとも複数導入タイミングの工認ですか。
1:42:39	ない社会電力の辻でございます。僕の後任も出してますし、あと再稼働本人のときにもこの部分の表、照射脆化のところの評価で、この内1.2倍っていう内容自体は出しております。

1:42:56	なので、両方というか、一緒。一緒というか、二つで、2.2 倍トヨタさせていただいてるという状況です。
1:43:06	以上です。
1:43:07	はい。その時にはでも
1:43:11	項目ごとの説明みたいなのはしてないってことですか。
1:43:19	はい。関西電力中崎でございます。おっしゃる通りです。1.2 倍という数字については、
1:43:26	その当時の新規規制基準工認とかでも、補足説明資料等、説明しているその 1.2 倍を文字的に考慮するってところの通常入ってるんですけども、この表のような詳細な説明というのは当時としてはしていなかったということでございます。
1:43:40	以上です。ということですねはい、わかりました。ありがとうございます。
1:43:44	他に、IASCCで質問コメントありますか。
1:43:50	はい。
1:43:52	今日の説明は以上。
1:43:57	関西電力さんに確認なんですけど、
1:44:01	あ、すみません関西電力の中崎社長にちょっと申し遅れてもだけなんですけれども、今、
1:44:07	IAEAからご説明させていただいた内容を、照射脆化側でも、コメントの趣旨としては一緒でございます、コメント回答の趣旨としては一緒でございます、
1:44:18	この表のところっていうのを、テイカの補足説明資料側にも反映させていただくことで今作成してございます。
1:44:25	これは 1 点補足でございます、
1:44:30	はい。なんでしょう。
1:44:34	先ほどちょっと調査米側でコメントいただいた中で、EL30 の時のPTカーブ、
1:44:42	間制限曲線、海水脚制限曲線の時には、安全分 1.5 で使っているんじゃないかっていうご指摘をいただいたところで、今ちょっとppm30 分ニワQAを確認したんですけれども、
1:44:55	やはり丹治の時も
1:44:58	上で 2.0 って、試験じゃ 1.5 というところは変えてなかったの、なるほど、そうですか。すみません。僕が見間違えたのかもしれないですちょっとわかりましたとあえず。
1:45:10	了解です私も今回確認しますけれども、不足したかもしれませんが、今回は今回修正、私は誤記を修正したのも、試験値の方で 2.0 になっていたのは、試験時は 1.5、通常値は 2.0 というふうにやっていると、
1:45:25	ホソノそれと両方 2.0 になってしまったので、1.5 に直させていただいたという次第でございます。
1:45:32	わかりました。こちらでも確認しますが、とりあえず了解です。はい。

1:45:39	えっと全体通して規制庁側から何か質問コメントは大丈夫ですかね。関西電力さんから何か確認等ありますか。
1:45:49	関西電力の辻でございます。ちょっと本日IDCの審査会合資料の方、提出させていただいていて大分ちょっと見ていただいたところで申し訳ないんですけども、
1:46:00	他電力さん玄海さんとか、仙台担当狩野アノ審査会合とか見させていただいたところですねロビンソンの
1:46:12	事象を受けた説明といったところ、
1:46:15	コメントされているのかなというところ拝見させていただいてございまして、ちょっと高浜 34 号の説明資料の方にちょっとこちらないので、
1:46:26	ちょっと今回、修正コメントもございましたのでちょっと例で、それに合わせてですねちょっとロビンソンの件もちょっと追加で説明させていただくような形で、
1:46:38	説明させていただこうかなと思ってますけれども、それでよろしいでしょうか。そうですね入れていただいた方がいいかなと思いますので、お願いします。
1:46:48	関西電力辻でございます。承知しました。
1:46:56	関西電力からは以上でございます。はい
1:46:59	ちなみに入る説明としてはISIとかで確認していますとそのベースの結果異常ありませんみたいにその結果 1 枚紙ぐらい 1 枚入るぐらいそんなイメージですか。
1:47:12	電力ツジでございますそのようなイメージです。1 回ちょっとコメントをいただいてコメント回答資料で説明させていただきましたけどもあれをちょっと、まとめたような説明になるのかなというふうに思っております。
1:47:26	はい、わかりました。
1:47:28	それでは本日のヒアリング以上で終了したいと思います。
1:47:33	ありがとうございました。
1:47:37	ありがとうございました。